

ボルドー

観光局

プレスリリース 2015



BORDEAUX
PORT DE LA LUNE
PATRIMOINE
MONDIAL
WORLD HERITAGE

目次



ボルドーを選ぶ理由
P.2



2015 年の注目イベント
P.3



ボルドー・文化遺産の歴史
P.4



港に戻るボルドー
P.5



ぶどう畑への入り口、ボルドー
P.6



ボルドーの美術館・博物館
P.7



ボルドー・メトロポール・シティ・バス: ボル
ドーを開く鍵
P.8



環境に優しい都市、ボルドー
P.9



ボルドーが食卓につくとき
P.10



ボルドー・ショッピング
P.11



ボルドーのナイト・ライフ
P.12



宿泊施設:「都会のひと部屋」
P.13



ビジネスツーリズムのブーム
P.14



ボルドーでゴルフを
P.15



都市計画、
大規模プロジェクト
P.16



ボルドー近郊へ小さな旅
P.17



2015年のイベント・スケジュール
P.18



数字で見るボルドー
P.19



広報・プレスコンタクト
P.20



ボルドーを選ぶ理由

ボルドーは活力ある魅力を取り戻したから

ボルドーでは18世紀の建築の外壁が白い輝きを取り戻し、ガロンヌの川岸が改修され川と共に暮らす喜びが戻ってきました。壮大な再開発を為し得た結果ボルドーは、ユネスコの世界遺産登録されたのです。ワインには太陽を詰め、道にはトラムを設置し、街角にはテラスや洒落たバー、活気あるスポットを絶やさないボルドー。活力ある陽気な都市ボルドーは、交通手段にもトラムや公共自転車《Vcub》、電気自動車など穏やかなシステムを重視。新しいトレンドであるスロー・ツーリズムをすすめています。

ボルドーは他の課題にも果敢に挑んでいるから

新しい跳ね橋シャバン＝デルマス橋Pont Chaban-Delmasの開通後も、新地区開発を含めたガロンヌ川岸の改修工事が続けられています。エコロジー地区ジンコGinko、バカラン＝バスサン・ア・フロBacalan - Bassins à Flotsのトレンドリーな地区、機能性を求めたサン＝ジャン駅gare Saint-Jean周辺再開発、さらにユーラトランティック計画が進行中です。

2016年にはいよいよ、ワインにまつわる発見と体験ができるユニークな施設、ワイン文明博物館Cité des Civilisations du Vinがオープンします。ワイン流通の中心

であるボルドーはそれを機に、ワイン文化の首都と位置づけられることでしょう。

ボルドーは、ひとつのライフスタイルそのものだから

名高いぶどう畑の玄関口に位置するボルドーは、アルカッション湾と海岸まで45分、コニャックと由緒ある醸造メゾンまで1時間、サルラやペリゴールまで1時間半、バスク地方やトゥールーズにも2時間で行ける魅力的な立地です。“Made in シュド＝ウエスト(フランス南西地方)”のライフスタイルは、フランス人の圧倒的支持を得ており、ボルドーはフランス人のお気に入りの街として、パリに次ぎ2位の栄冠に輝いています。

2017年にはTGV南ヨーロッパ大西洋高速鉄道路線の開通により、パリからはわずか2時間15分で結ばれます！

ボルドーは「ヨーロッパのベスト・デスティネーション」の栄冠に輝いたから。オンライン投票により4万2000以上の票を集め、最終選考に残っていたローマ、ロンドン、リスボン、バルセローナ、アテネなどを破ったことです。

*2013年4月のBVA世論調査



2015年の注目イベント

エネルギーでお祭好き、スポーツ好きのボルドーは常に躍動し続けています。次から次へと新しいイベントが誕生し、プロジェクトにはこと欠きません。2015年は、特に当たり年です！

ボルドーのXXLサイズのスタジアム

重さはエッフェル塔の2倍、丸や楕円のボールが好きで、芝生の周りに4万2000もの人々を迎えられるものは、いったい何でしょう？

答えは、ボルドーの新しいスタジアムです！北京の「鳥の巣」で知られるヘルツォーク&ド・ムーロンがデザインしたこのスタジアムは壮大な規模を誇り、高さは37メートル、幅210メートル、長さ233メートル、観客席はのべ24キロメートルに及びます。この春オープンする、この新しいスタジアムではFCジロンダン・ボルドーの2015-2016シーズンの全ての試合が行われ、6月5、6日には、ラグビーのフランス選手権トップ14の準決勝が開催されます。さらに2016年6月10日から7月10日には待ちに待ったEuro2016を迎えます。「ヨーロッパ・スポーツ都市」のラベルを獲得したボルドーを名実ともに裏付けることになるでしょう！

<http://en.nouveau-stade-bordeaux.com>

《ボルドー・川の祭り》に、フィガロ・エリック・ボンパール・カシュミール・ヨット単独レースがやってくる！

今年も《ボルドー・川の祭り》が開催されます。2015年のテーマは「木と川」！5月22日から30日の会期には、水上のア

クティビティー、ガロンヌ川上の散策、展覧会、コンサートや花火など盛りだくさんのイベントが行われます。今回も有名な3本マストの帆船「ベレム」の寄港が予定されているほか、区間のあるシングルハンドの外洋ヨット・レースの中で屈指の《フィガロ・エリック・ボンパール・カシュミール・ソロ》の第46回の栄えある出発点となることも決定しました。去年、大勢の観客を集め大変な盛り上がりを見せたレースのスタートを、今年もボルドーで観戦できます。参加ヨットの集合は5月22日です！

ホドロフスキー: ボルドー現代美術館CAPCで「キ・デメナージュQUI DÉMÉNAGE」と銘打った展覧会。

文筆家、映画監督、役者、シナリオ作家と、アレハンドロ・ホドロフスキーの才能は、実に多彩で豊かです。ボルドー現代美術館CAPCでは5月28日から9月27日まで、ホドロフスキーにオマージュを捧げる回顧展を開催します。この展覧会は、秘教や幻想・怪奇趣味に惹かれ、常に挑発を続けるこの鬼才の創造活動のすべてのフィールドに光をあてる試みです。ボルドーの文化生活の中の一イベントです。

www.capc-bordeaux.fr/en



ボルドー・文化遺産の歴史

2007年にユネスコ世界遺産に登録されたボルドー。



登録地域は1810ヘクタールに及び、都市景観の登録としては世界一の広さを誇ります。

文化遺産に指定された地区はガロンヌ川に沿って徒歩や自転車、トラムなどで見て回れます。北部にあるシャルトロン地区Chartronsはかつてのワイン卸売商街で、今は多くの骨董・古美術店が軒を連ねています。ヴィクトール・ルイの傑作建築、グラン・テートル(大劇場)を中心に高級ブティックや大邸宅の集まるグランゾム地区Grands Hommes、レストランや歩行者専用の広場のある繁華街サン=ピエール地区Saint-Pierre。ペイ=ベルラン塔やサン=タンドレ大聖堂(ユネスコ登録)のある風情豊かなサン=ミッシェル地区Saint-Michelにはスパイスの匂いが漂い、マルシェやサン=ミッシェルの尖塔が趣を添えます。そこから、いつも学生で賑わうテラスの並ぶヴィクトワール広場に至ります。

ポン・ド・ピエール(石橋)を渡りガロンヌ川の右岸へ向かいましょう。ここも植物園やニエル兵舎、ラ・ギャンゲット、シャバン=デルマス橋など発見が一杯の地区です！

コンテンツポラリー・ボルドー

この散策コースは1950年代以降に建設、あるいは改築された建築物にスポットを当てます。1951年建造のラ・ペノージュ消防署から、近年竣工したシャバン=デルマス橋(2013年)まで、倉庫、裁判所、ホテル、銀行など、近代的なボルドーに出会える場所を巡ります。

www.bordeaux-tourisme.jp



タブレットに乾杯！

イマヤナ(Imayana)は、ボルドーのHeritage Prod社が開発したタッチパネルのタブレット。これを使えば、ボルドーの黄金時代を再現した古典主義様式の文化遺産を3Dで目の前に現れ、月の港、グラン・テートル(大劇場)やグロス・クロッシュ(大鐘楼)などが、まるで過去にタイムスリップようにご覧いただけます。ご利用は2時間半、10€。



港に戻るボルドー

ふたたび「月の港」の姿に戻る、ボルドーの新しい挑戦？

クルージングの分野ではすでに面目躍如！ボルドーはクルーズ船のデスティネーションとして選ばれています。極めて優れた文化財や市の中心部にある川岸、そして世界的に名高いぶどう畑の玄関口 にあるという立地など、ボルドーにはすべてが揃っています。



プリンセンダム号、オイローパ2号など、すでに30余りの海洋客船が、寄港地としてボルドーを選んでおり、2015年には、ヴェネチアとアムステルダムを結ぶセブン・シーズ号、大西洋-カナリア諸島を航行する新しいコスタ・ネオロマンチカ号が寄港します。

ボルドーは河川を専門としたクルーズ会社にとっては出発地でもあります。すでにクロワジーヨーロッパ(CroisiEurope)、ヴァイキング・リバー・クルーズ・ユニワールド(Viking River Cruises Uniworld)、そして2015年にはセニック・クルーズ(Scenic Cruises)とグランド・サークル・トラベル(Grand Circle Travel)が参入します。ジロンド川、ガロンヌ河やドルドーニュ川の河口へクルージングしてボルドーを代表するぶどう畑、サン＝テミリオン、ポムロール、メドック、ポイヤック、ソーテルヌなどを遊覧するコースが用意されています。

耳寄り情報

«Batcub»に乗れば、トラムのチケットの料金の30分の船旅に出られます！ジロンド川のシャトル船は、兩岸を行き来するボルドーっ子の交通手段です。観光される皆様にも好評です！



エピキュリアン(享楽家)のためのクルージング

ボルドー・リヴァー・クルーズ(Bordeaux River Cruise) は、ボルドーのクルーズ社。ジロンド川の河口を和気あいあいとした雰囲気で見学するコースを準備しています。河口の島々、ヴォーバンの要塞群、ぶどう畑などを遊覧できます。一日コース、または半日のコースで、ワイン学や食事が楽しめるコースの他、夏の夕べにはぶどう栽培者とアペリティブをテーマにしたクルージングもあります。イスタンブールからやって来たシカンブル号を含む3つの遊覧船でぜひ、クルージングをお楽しみ下さい。

<http://bordeaux-river-cruise.com>



ぶどう畑への入り口、ボルドー

60ものAOC(原産地呼称統制)、11万ヘクタールに及ぶ栽培地、
7000の生産者を擁するボルドーでは、ワインツーリズムも大変盛んです。

テイasting入門、シャトーの見学、ぶどう収穫のワークショップ、
ぶどう畑でのタベなどなたにもご満足いただけるコースが揃って
います！

格付けされたワインとメドックやグラヴの魅力的な家族経営のぶ
どう園を組み合わせた見学などはいかがでしょう。

www.bordovino.com

1855年に格付けされた3つのグラン・クリュのビジットでは試飲に
加え、その中のひとつでランチを味わうことができます。

秋には、ワイン作りの全てが学べ、シャトーでのランチのついた「ぶ
どう収穫の日」コースも。

ボルドー市内でも、ボルドーワイン協会のワイン・スクールでテイ
astingの手ほどきを受けられます。2時間、35€。

www.bordeaux.com/jp

そのあとは、ボルドーの岸沿いを進む船上でぶどう栽培者と共に「ぶ
どう畑のアペリティフ」はいかがでしょう。催行は5月から10月、21€
。水上散歩と試飲はボルドー・リヴァー・クルーズ(Bordeaux River
Cruise)へどうぞ。

詳しくは、ボルドー観光局のサイトをご覧ください。

www.bordeaux-tourism.jp

もうすぐオープン！

ワイン文明博物館は、壮観な展示空間の中であらゆる
角度からワインの魅力を解き明かします。最近出
来たシャパン＝デルマス橋の横に建設中のこの施設
は、ワイン文化首都としてのボルドーを不動のもの
とすることでしょう。オープンは2016年です！



ブラボー！ ベスト・オブ・ツアー

「ベスト・オブ・ワイン・ツーリズム」賞に輝いた生産
者を廻り、ボルドーのワインツーリズムの最高峰を
体験するコース。異なる3つのオペレーションと卓越し
た3生産者を訪ねる思いがけない発見に満ちた一
日です。催行は5月から10月で、全日105€。

www.bordeaux-tourism.jp



ボルドーの美術館・博物館

クロード・モネ、ドラクロワ、マティス、ピカソ、ビュラン、アネット・メサジェ、リチャード・ロングなどの作品を所蔵するボルドーの11の美術館・博物館は、どなたにもきっとご満足いただけます。さらに、ボルドー・メトロポール・シティ・パスがあれば、アクセスは無料です！

歴史ファンならば、目指すはアキテーヌ博物館 musée d'Aquitaine。先史時代から今日までのボルドーとアキテーヌ地方の歴史を辿ることができます。

www.musee-aquitaine-bordeaux.fr/en

がらりと雰囲気を変えて、税関博物館 musée des Douanes はいかがでしょう。ブルス広場に建つ18世紀の豪華な館の中にあるこの館では、余り知られていない税関制度の歴史が紹介されています。

ボルドー美術館 musée des beaux-arts では、ティツィアーノからピカソまで、330点の絵画や彫刻作品がご覧いただけます。

www.musba-bordeaux.fr/en

装飾芸術・デザイン美術館 musée des Arts Décoratifs et du Design は、18世紀の優美な建築、ラランド館に入っています。

ボルドーは、現代アートにも注目しています。そのひとつがCAPC。かつての植民地資材倉庫が、今を生きる現代アートの展示スペースとして蘇り、1960年代から現在までのコレクションが所蔵されています。

www.capc-bordeaux.fr/en

アウトサイダー・アートの愛好者ならば、クレアション・フランシュ(率直な創造)美術館 musée de la Création franche の見学をお忘れなく！

芸術への愛

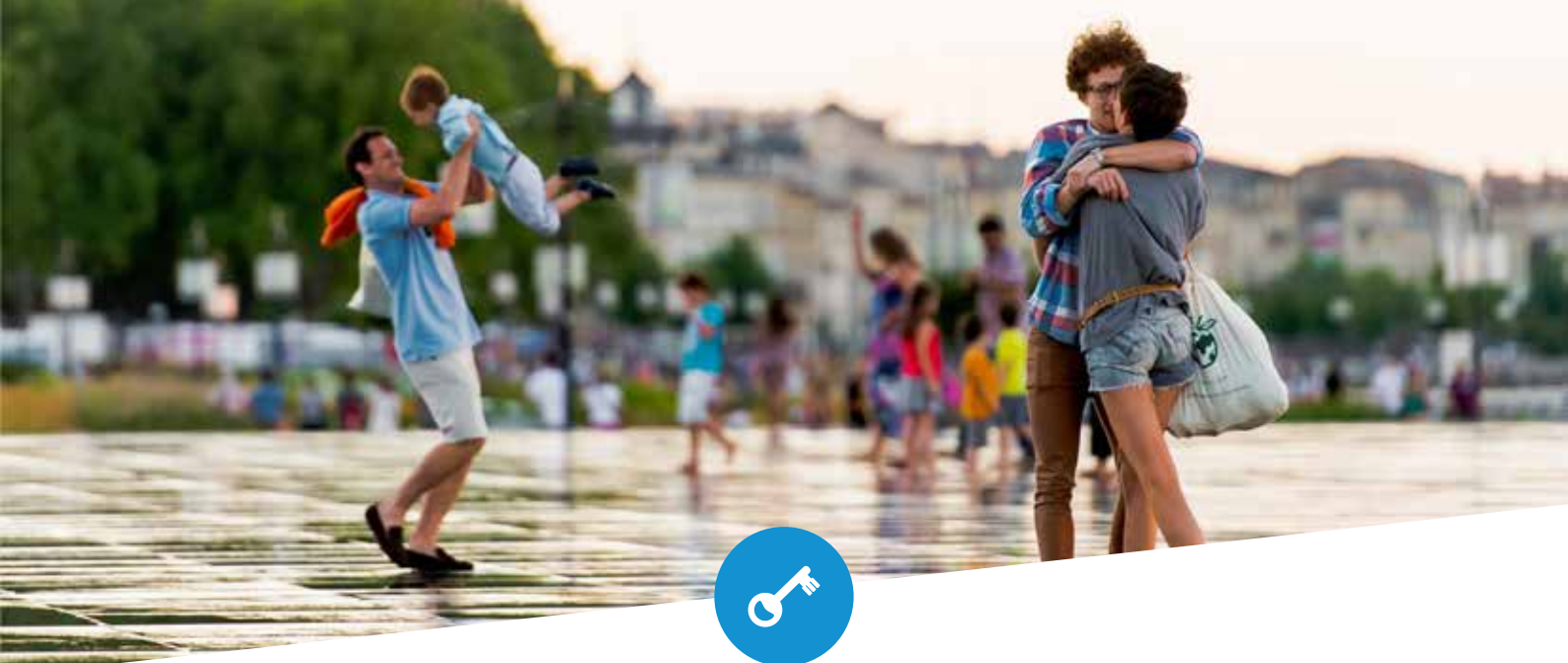
1773年に建てられた瀟洒な邸宅の中にあるベルナル・マグレ研究所 Institut Bernard Magrez が提唱するのは、展覧会や出会い、アーティスト・イン・レジデンス、子供ワークショップを通して、誰もがアクセスできる現代アートです！

<http://bit.ly/institut-bernard-magrez>



思いがけない場所

1941年、ドイツ軍がUボート隊のために造った潜水艦基地 base sous-marine が、今日では、地下のカルチャー・スペースとして、生まれ変わりました。写真展、コンサート、演劇、ダンス…。変貌を続けるバスサン・ア・フロ地区で、目の離せないスポットです。



ボルドー・メトロポール・シティ・パス: ボルドーを開く鍵

ボルドー・シティ・パスがなければ始まりません！ ボルドーの20の美術館や建造物をはじめ、公共交通（バス、トラム、ガロンヌ川のシャトルボート）、ユネスコ世界遺産の街ボルドーの見学ツアー、パノラマバス遊覧が無料になるほか、ガロンヌ川のクルージングの割引、各種のレジャーに優待特典があります！ボルドー観光に欠かせないシティ・パスは、ご希望に合わせて1日券～3日券の中から選びください。

新たな特典 !

2015年3月1日からは、シティ・パス適用範囲がさらに広がります。その中にはユネスコの世界遺産に登録された建造物なども含まれています。サン＝テミリオン・モノリット教会、プレーのヴォーバンの街砦、アルカッションのヴィル・ディヴェール（冬の街）も無料で見学できるようになります。

その他のイノベーションは、「Wiidii（ウィーディー）」と名付けたアシスタントサービス。このアプリは、ボルドー滞在中のレストランや公演の予約、飛行場までの送迎、英語を話せるドクターなどの様々なお手伝いを、お客様のご要望に沿って行います。（英語・フランス語）



1日券25€
2日券30€
3日券35€



お求めはボルドーの観光局の他、Tbcの交通網の販売ポイント、そしてオンラインでも。

<http://bit.ly/city-pass-jp>

耳寄り情報

ボルドーの街の魅力がぎゅっと詰まった観光街歩きガイドツアーは毎日、またバスで回るツアーガイドは水曜日と土曜日に催行しています。料金は10€。

ぶどう畑の魅力に浸るツアーなら、アントル・ドゥー・メール、メドックまたは、サン＝テミリオン・オペラを半日で回るエクスプレス観光…38€



ボルドー滞在を函に詰めて

ご滞在に必要なものが詰ったボルドー・ボックス：ホテルかゲストハウスでの2泊（朝食込み）と、3日間のシティ・パスがお2人分セットになったボルドー・ボックス。2つ星260€、3つ星360€、4つ星550€。お求めは

<http://bit.ly/bordeaux-box-package>



環境に優しい都市、ボルドー



フランスの地方都市の中で、ボルドーはフランス人に一番人気のある大都市です*。さらにフランスで一番「サイクリスト・フレンドリーな街」でもあります**。水域12%、緑地面積10%のボルドーは、環境に優しい都市の中でもトップランナーのひとつです。

トラムや公共自転車システムVcub(106カ所のポイント、1700台の自転車)のおかげでボルドーの街の中心は歩行者向きになっており、それが街を栄冠へ導いたのです！

ボルドーの自転車専用道は6.5kmから33kmの6本、全長は163キロにわたり、まさに自転車があればどこにでも行けます！観光にもガイドと回る自転車ツアーがあり、16kmから26kmの様々なコースが用意されています。

また、ペロタクシーのシクロ＝ヴィル(Cyclo-ville)でのエコロジー観光なら、思いがけない景色やお店にも出会えそうですね。

公園といえば

公園・緑地スペースが市民一人当たり15m²のボルドーは、緑の街。再整備された川岸、公園や庭園、街の真ん中にあるジャルダン・ピュブリックJardin publicをはじめ、コテラン地区のボルドー公園 Parc Bordelais、ブランクフォールにはマジョラン公園 parc du Majolan、スノンにはパルメール公園 parc Palmerなどがあります。またバスティッド地区の華、テーマ別庭園や温室のある植物園 Jardin botaniqueもお忘れなく！



ダーウィンですって？

昔の兵舎を転用したエスパス・ダーウィンespace Darwinには、環境に優しい創造的なビジネスの極小企業の協働スペースや有機食品を使ったレストラン、オーガニック商品を扱う小さなスーパー、ウェルネス・エリアがはいており、もうすぐエコ＝ロッジもオープンする、ボルドーの新しいトレンドリー・スポットです。

http://bit.ly/darwin_en

* 2013年4月、BVA世論調査。

**出典：Copenhagenize Index 2013 / « be cycle friendly »の順位



ボルドーが食卓につくとき

世界のベスト・フード・シティー：ボルドーは、2014年にアメリカのブログThrillistによって、「ワールド・ベスト・フード・シティー」に選ばれました。ボルドーには1000店ものレストランがあり、マルシェには



フランス南西部の最良の産物 – アルカシンの生牡蠣、ランドやペリゴール地方のカナール・グラ(フォアグラのために太らせた鴨)、ポイヤックの乳飲み仔羊、バザスの牛肉、ランブロワ(八つ目うなぎ)やカヌレが集まるのですから、この

栄冠は当然のことでしょう。特産物に出会える場所はカピュシン Marché des Capucinsの昔ながらのマルシェや、ちょっとおしゃれでトレンディーなシャルトロンのマルシェMarché des Chartrons。屋外のマルシェで生牡蠣を味わってみるのもいいですね！

ガストロノミーとくれば、ボルドーには才能あるシェフがひしめいています。シャポン・ファン(Chapon Fin)のNicolas Nguyen、フランス・ノワール(Prince Noir)のVivien Durand、ゴー・ミヨー・ガイドで「明日を担う大シェフ」の太鼓判を押されたソレナ(Soléna)のAurélien Crosato。流行のレストランの中で期待があつまる新星は、レストランガイドのル・フーディングがフランスのレストランに選んだル・マイルズ(le Miles)。お料理好きの皆様には、サン＝ジェームスの料理教室がどなたでも参加できるコースを用意しています。

www.saintjames-bouliac.com/en

最近のトレンドは日曜日のランチ。ボルドーではあちこちのお店が美味しいランチを競っています。なかでも、“フード・トラック food trucks”では自家製の世界の料理(アジア、ラテンアメリカ、ハンバーガーなど)がお手頃な価格で食べられます。

星を戴いて…

ボルドー美食界の一大イベント！それはベルナール・マグリ研究所の中に出来た魅力的なレストラン、グランド・メゾン(Grande Maison)に世界中でミシュランガイドの星を最多獲得(26個)したジョエル・ロブションを迎えたことです。2つの広間に45の客席、並外れたワインリストにはボルドーの格付けワインが259。待ち望まれていたミシュラン三ツ星レストランがボルドーにいよいよ誕生するかもしれません。

http://bit.ly/lagrandemaison_bordeaux



旨いもの散策コース

ボルドー観光局が、エビキュリアン(享楽家)の皆様におくる「旨いもの散策」コースは、カピュシンのマルシェで地方の特産物を見て回り、地元特産物のパニエ(籠)付き。3時間、22€。



ボルドー・ショッピング

ショッピング好きの瞳を輝かせるものが何でも揃っているボルドー：
ファッションからビューティー、デザイン、アンティーク、食器やテーブル・アートなど。



ファッションのショッピングでしたら、どの地区もそれぞれ特性があります。ランタダンス大通り、ジヨルジュ・クレモンソー大通り、トゥルニー通りに囲まれた三角地帯、「トリアングル」Triangleに建ち

並ぶのは、高級店。フランチャイズや若者向けのショップならば、フランスで一番長い、1145メートルの歩行者専用道のサント=カトリヌ通りrue Sainte-Catherine。ここには伝説のギャラリー・ラファイエット(Galeries Lafayette)を含む230店舗が軒を連ねています。サン=ピエール地区quartier Saint-Pierreやサン=テロワ地区quartier Saint-Elloiでは、アート感覚に満ちたクリエイターショップやコンセプトストアに出会えます。お買い得品や工場出荷価格の商品なら、日曜日でもオープンしているケ・デ・マルク(Quai des Marques)。シャルトロン地区quartier Chartronsにある旧倉庫へ足をお運びください。

古物・骨董市をまわるのが好きな方にも楽しみがいっぱいのボルドー。日曜日の午前中なら、行き先はサン=ミッシェル地区quartier Saint-Michel。近年改修工事を終えた美しいサン=ミッシェル広場place Saint-Michelで青空市が開かれています。また、毎日営業しているのは、かつてのパナナ熟成場だったパッサージュ・サンミッシェルPassage Saint-Michel、まさにアリババの洞窟です。

書籍のメッカ

2500㎡、15のスペース、16万タイトル、そして毎年190万冊の売り上げを誇るモラ書店(librairie Mollat)は、フランスで最大の独立系書店。モンテスキュー邸の跡地にあるこの店は1896年から同じ家族の経営です。



すべての喜びのある道

画廊、シックなボヘミアンショップ、美術工芸店、古物・骨董店など、シャルトロン地区quartier des Chartronsにあるノートル=ダム通りrue Notre-Dameはヴィラージュ・ノートル=ダムの35のアンティークショップを含め、おすすめのショップがいっぱいです。10月の最後の週末はここで、広大な骨董市を中心としたお祭りが開催され、ヴァン・ブリュ(発酵途中の白ワイン)や焼き栗、ジャズバンドが雰囲気を盛り上げます。



ボルドーのナイト・ライフ

ボルドーはお祭り好きの若い街です。広場やワインバーでのアペリティフ、
思いがけない場所でのコンサート、アンダーグラウンドのダンス・フロアーなど、
歓楽は夜更けまで続きます。

ボルドーの音楽シーンは常に沸き立っています。Apollo、Wunderbar、El Chichoなどの洒落たバーでは、グラスを傾けながらバンドの音楽をお楽しみいただけます。お好みのスポットが見つけるにはが便利です。同じくミュージックシーンでは、Rocher de Palmer。2010年のオープン以来ジャズ、ロック、ワールドミュージックのビッグネームを招聘し続けています。また、Rock School Barbeyでは、メリニャックのKrakatoaやCasino Barrièreと同様、多彩なプログラムを組んでいます。



沈む夕日をうっとり眺められるルーフトップをお探しなら、フィリップ・スタークのデザインしたトレンドホテルのMama ShelterとGrand Hôtelが双璧です！

夜が白むまで楽しみたい方には、バスサン・ア・フロ地区Bassins à Flotsに新しく出来たトレンド・クラブ、Tiradito、TheatroやBlack Pearlがおすすめです。

クラシカルな雰囲気

1780年にヴィクトール・ルイが建てたグラン・テートルGrand Théâtreは、今日「ボルドー国立歌劇場」という名称となり、音楽愛好家やバレエファンの殿堂として、120人の演奏家、38人のダンサー、40人のコーラス歌手を擁しています。2013年には別館として、素晴らしい音響を誇る1400席のコンサートホール「オーディトリウム」Auditoriumが誕生しました。



オルタナティブな雰囲気

発展を続けるバスサン・ア・フロ地区Bassins à Flotsの新しいスポット、I.Boatを抜きにして、ボルドーのナイトシーンは語れません。エレクトロ・クラブのプログラムはロックからポップ、ヒップホップまで幅広く、その中には地元アーティストのクリエイションスペースもあります。英国ガーディアン紙の「ヨーロッパのクラブ、ベスト25」に選ばれたことでも注目されます。



宿泊施設：「都会のひと部屋」

ホテル、ゲストハウス、アパートマン、ユースホステル、キャンプ施設など、
宿泊施設の数が増え続けており、ほぼ400を数えるまでになりました。

ラグジュアリーなホテルでは、スパを備え国際的にも名高い、グラン・オテル(Grand Hôtel)、オテル・ドゥ・セーズ(hôtel de Sèze)など、4つ星、5つ星があります。

商用でお越しの方には、出張の際に必要な設備が整ったホテルチェーン、メリュキュール・シャトー・シャルトロン(Mercure Château Chartrons)やプルマン・ボルドー・ラック(Pullman Bordeaux Lac)などがございます。

美食が楽しめるホテルならば、ポイヤックのルエ&シャトー、コルデイヤン・バージュ(Cordeillan Bages:ミシュランガイド2つ星)と、ブリアックのルエ&シャトー、サン・ジェームス(Saint James:ミシュランガイド1つ星)はいかがでしょう。

ボルドー市の中心には、コンセプトホテルがどんどん生まれており、たとえば、フューチャリスムな外観のシーコー(Seek'oo)、ブティック・オテル(Boutique Hôtel)、デザイナー・フィリップ・スタルクの手に成り、近年オープンしたママシェルター(Mama Shelter)などがあります。

最新のホテルなら、スタイリッシュな内装のブティックホテル、オテル・ド・トゥルニ(hôtel de Tourny)、そして洗練された6つスイートルームでお迎えするベルナール・マグレの豪華ホテル、グランド・メゾン(Grande Maison)。

www.hoteldetourny.com

www.lagrandemaison-bordeaux.com/en

ゲストハウスの発展にも目を見張るものがあり、特に高級なものが増えております。小じんまりした居心地のよいゲストハウスなら、ロテル・パルティキュリエ(l'Hôtel Particulier)、ラ・ヴィラ(la Villa)、アレヌ・ボルドー(Arène Bordeaux)やメゾン・フレドン(Maison Fredon)。

新しい5つ星ホテル

Yndoホテルは、ラグジュアリー、静謐、デザインをすべて兼ね備えています。19世紀の豪華な建物の中に、才能豊かなデザイナーによる10つのベッドルームと2つスイートルーム、そして薫りのよい庭とテラスがお待ちしています。

www.yndohotelbordeaux.fr/en/



ウェルネスの泉で

シャトー・スミス・オー・ラフィットchâteau Smith Haut-Lafitteのすぐ側、ぶどう畑と森の間にある5つ星ホテルのスルス・ド・コーダリー(Sources de Caudalie)は、フランス式ライフスタイルとコスメの開発を融合させています。ヴィノセラピーはここで誕生しました！

www.sources-caudalie.com/en/



ビジネスツーリズムのブーム

ビジネスツーリズムの分野でボルドーはフランスの都市中、4位の座を占めています。
2013年の一年間だけでも81の会議や見本市が開かれ、3万人以上の参加者を得て、経済効果は2千2百万ユーロを超えました。

この成功の要因は幾つもあります



様々な分野での刺激的な経済中枢（航空宇宙、光学、レーザー技術、ナノテクノロジー・バイオテクノロジー、神経科学、健康）。

宿泊施設のリノベーション:150のホテルに10,000の客室があり、そのうち6300室は中心部に位置し

ています。ビジネス向けのホテルから、チャームなゲストハウス、4つ星のキャンプサイトまで多様な宿泊スタイルを提供しています。

施設の質が高いのも魅力です。5つのコンベンション・センターの中の一つ、ヴィルモットがリノベーションしたパレ・デ・Congrès Palais des congrèsには自然に囲まれたロケーションに、1850人が収容できる3つの大会議場があります。

ユネスコの世界遺産に登録された街並みの中でのビジネスツーリズム。ブルス宮殿Palais de la Bourseの18世紀の広間など、類を見ない素晴らしい場所を備えています。

お問い合わせは、ボルドー・コンヴァンション・ビューロー (Bordeaux Convention Bureau) へ。ダウンロードできるガイドブック(仏・英語版)もご用意しております。

www.bordeauxconventionbureau.fr/en

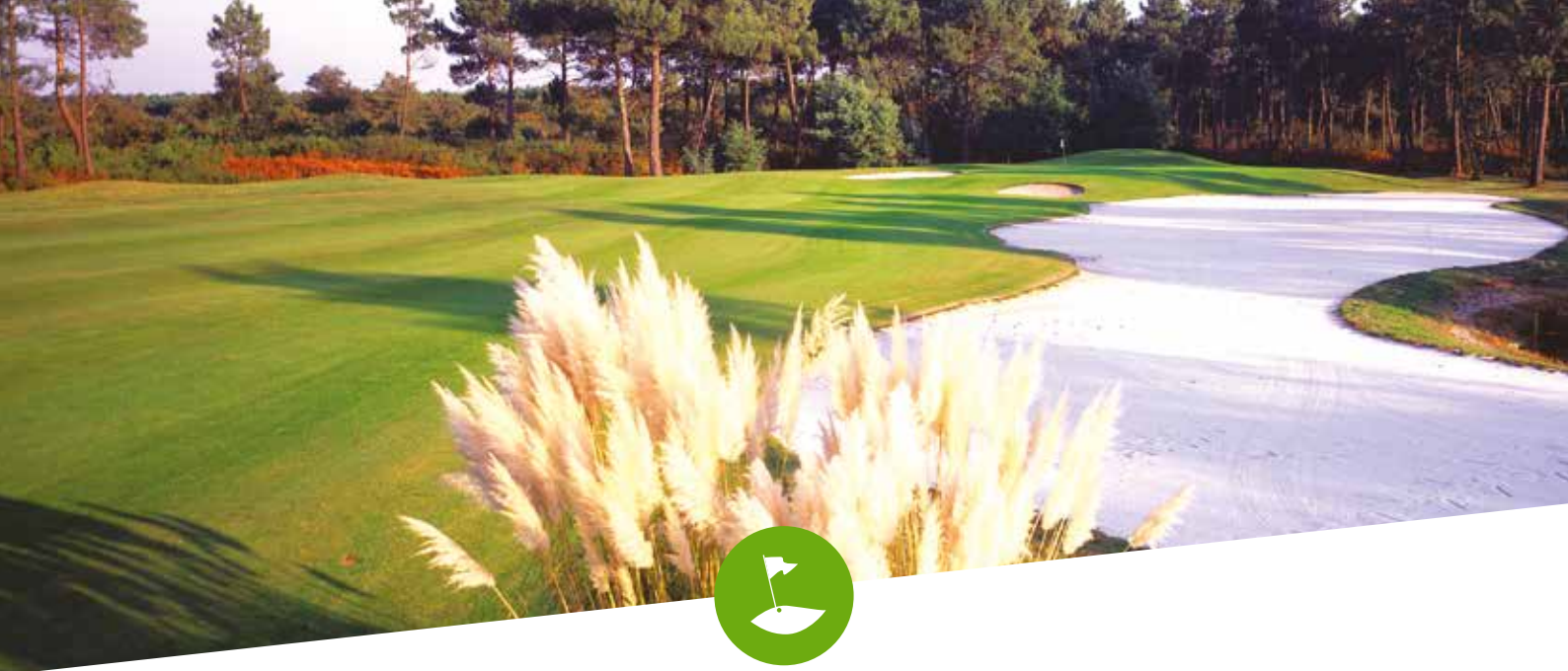
XXLサイズの世界会議

ボルドーは2015年10月5日から9日に、ITS(高度道路交通システム)世界会議を受け入れます。60カ国3500人の会議参加者、1万人の入場者が持続可能な輸送のためのデジタルシステムの回りに集うことが見込まれています。一大イベントです!



シャトーの暮らし

ワインシャトーは、ボルドーのビジネスツーリズムにとって、もうひとつの切り札です。シャトー・オー＝バイイ(Haut-Bailly)を始め、キルワン(Kirwan)、ピション＝ロングヴィル(Pichon-Longueville)、スミス・オーラ＝フィット(Smith Haut-Lafitte)など、20余りのシャトーが、セミナーやテーマを設けた見学、レセプションや宿泊施設として、門戸を解放しています。



ボルドーでゴルフを

ボルドーの周辺には、市から1時間半以内の距離に、
9ホールから27ホールの30のゴルフ場が散在しており、
ゴルフファンの方々に大好きなスポーツを満喫していただけます。



ゴルフ場は全て、《ゴルフ・イン・ボルドー》という一つの協会に属しています。その目的は、ボルドーとアキテーヌ北部を、ゴルフの目的地としてプロモートすること。ウェブサイトではアップデートされたゴルフ場情報があり、ゴルフと宿泊とのパック、研修や無料の手ほどきなどの情報も得られます。

多くのゴルフ場がありますので、バラエティー豊かな景観に彩られた4つの異なる地区からお好みに合わせてお選びいただけます。ボルドー市民は市内や都市圏内の3つのゴルフ場、街の中心部からわずか数分のところでスイングを楽しんでいます。海岸の雰囲気を楽しみたい方には、アルカッション湾Bassin d'Arcachonにある海と松林の香りに包まれた5つのコースがおすすめです。メドックには海とぶどう畑のあいだに3つのゴルフ場があり、特に有名なのが、メドック・ゴルフ場(Golf du Médoc)です。エビキュリアン、享楽主義者の方々には、ドルドーニュで4つ星シャトーホテルが完備したゴルフをするか、サン＝テミリオンズの近くで、ぶどう畑とワイン貯蔵庫の間でのゴルフというチョイスがあります。

トップに輝く

ランド、松林、ヒースに囲まれた広いフェアウェイ：メドック・ゴルフ場(Golf du Médoc)には、どこかスコットランドのような雰囲気があります。18ホールのコースが2つ、4つ星のリゾートホテルを備えたこのゴルフ場は、さまざまな賞の常連です。ロレックスガイド2010年のフランスのベストゴルフ賞で3位に、専門家によって構成された審査委員会からフランスのゴルフ場トップ5に認められ、フェアウェイ・マガジンでは2014年の1位に輝きました。

www.golf-bordeaux-gironde.fr/en/





都市計画、大規模プロジェクト

ワイン文明博物館、フランス第2の駅になる見込みのボルドー駅、次々誕生する新しい地区の数々、パリとの間を2時間15分で結ぶ南ヨーロッパ大西洋線のTGV開通の追い風を受けて、ボルドーはその意気込みを表明しています。それは、21世紀ヨーロッパの重要な大都市圏になることです。

北部には、シテ・デュ・ヴァンCITÉ DU VIN（ワイン文明博物館）



ボルドーの玄関口、ガロンヌ川岸に建設中のガラスの塔。ワイン文明博物館Cité des civilisations du vinはワインにまつわる人智と歴史を世界に発信する灯台の役割を果たすでしょう。来館者は、ワインの世界のさまざまな面を、五感すべてにうたえる壮大で楽しいマルチメディアを通じて親しみながら理解することができるのです。グラスにつがれるワインの動きを思わせるような丸みを帯びた斬新なデザインの建築。変貌を遂げつつあるバスサン・ア・フロ地区での圧倒的な存在感を見せます。ビルバオにはグッゲンハイム美術館、シドニーにはオペラハウスがあるように、ボルドーにも代表的な特産物に結びついた象徴的な現代建築が誕生しようとしています。

南部には、巨大な工事現場、ユーラトランティック



かつて屠殺場のあったパリュダット岸quai de Paludateには、2017年にMECA（アキテーヌ創造経済文化館）が竣工します。この中にはFRAC（地方現代美術基金）の他、現代パフォーマンス・アートや文化産業関連の機関も入る予定です。フランスで最大規模の開発プロジェクトであるボルドーの駅周辺開発、ユーラトランティック計画の核がMECAなのです。面積740ヘクタールの中に、500,000㎡の事務所、15,000戸の住宅、そして100,000㎡が商業地域とホテルにあてられています。もうひとつ忘れてならないのは、フロワックとボルドーの間にかかるジャン＝ジャック・ボスク橋pont Jean-Jacques Boscです。歩行者にも大きなスペースを設けたこの橋は出会いの場となり、大きなイベントの際には車両の通行を止めることもできます。



ボルドー近郊へ小さな旅

フランス南西部の入り口に位置するボルドーからは、文化、グルメやスポーツが楽しめる遠足や小旅行の種類も豊富です。

ボルドーから45分

ジロンド川の河口地帯、河口の神秘的な島々、ユネスコ世界遺産に登録されたヴォーバンの要塞群)verrou Vauban。ボルドー発のクルージングでもおいでいただけます。

メドック、ソーテルヌ、グラヴ、サン＝テミリオンなどの極上ワインのシャトーやぶどう畑。



ボルドーから1時間

アルカッションとその湾bassin d'Arcachon、ピラの砂丘 dune du Pyla、牡蠣養殖の小さな港。そして、有名な観光地とはいえ神秘的な雰囲気をも宿したフェレ岬Cap-Ferret。ヨーロッパで一番広大なランドの森林forêt des Landes、サイクリングロードが整備されており、自転車での散策の楽園です！

ボルドーから1時間半

コニャックCognacの街と蒸留酒の有名なコニャックメーカー。

ボルドーから2時間

ペリゴール地方Le Périgordと有名な城の数々、ラスコーの洞窟grottes de Lascaux、サルラ市Sarlatとこの街のマルシェ、ペリグー市Périgueux、ベルジュラックのワインBergerac。

バスク地方Pays Basqueと個性あふれる村々、ビアリッツ市Biarritzと数々のサーフィン・スポット。魅力的なリゾート湾のサン＝ジャン＝ド＝リューズ市Saint-Jean-de-Luz、バイヨンヌ市Bayonne。

フランス国王アンリ4世の生まれたベアルン地方Béarn。ポー市Pau、ピレネー地方Pyrénéesの手つかずの渓谷、スキー場、そして国境の向こうはスペインです。

完璧なトライアングル

ボルドーを起点とした2つのおすすめ小旅行。どちらも中味が濃く、気分転換にも最適です。ひとつめは、サン＝テミリオンSaint-Emilionへの旅。ユネスコ世界遺産に登録されたぶどう畑や中世そのままの小径や家並みの残る村、岩を掘って造られた教会としてはフランスで一番大きなサン＝テミリオンの地下教会。見渡す限りのぶどう…。

ふたつめの旅は、がらりと雰囲気の違うアルカッション湾Bassin d'Arcachon。夢のような風景の広がる内海には、ピラの砂丘dune du Pyla、イル・オ・ゾワゾー(鳥の島)Ile aux Oiseaux、「チャンク」と呼ばれる牡蠣養殖の見張り小屋、アルガン岩礁banc d'Arguin…。そして湾を取り巻く10つの町や村、牡蠣養殖の港や海水浴場がそれぞれに特有な語り口で、この湾の魂を伝えてくれることでしょう。

2015年のイベント・スケジュール

1月

「二十日鼠と人間」DES SOURIS ET DES HOMMES

2015年1月15日から31日

第8回を迎える、この国際パフォーマンスアート祭では9つの国々の16の公演が8つの会場で開催されます。

2月

国際馬術選手権・ジャンピング・ボルドーJUMPING INTERNATIONAL DE BORDEAUX

2015年2月6日から8日

展覧会「オディッセイ、宇宙の旅へ出発」ODYSSÉE, DESTINATION ESPACE

2015年2月13日から2016年1月6日

宇宙旅行を夢見たことはありませんか？ご搭乗は今すぐ、カップ・シアンから…。

3月

キャットル・タンダンス/5 QUATRE TENDANCES/5

2015年3月18日から26日

シャルル・ジュドとボルドー国立バレエ団が贈るコンテンポラリー・ダンス。グラン・テアトルGrand théâtreにて

4月

ボルドー・メトロポール・マラソン MARATHON DE BORDEAUX

2015年4月18日

5月

ボルドーの川の祭りとフィガロ・エリック・ボンパール・カシュミール、ヨット単独レース

2015年5月22日から31日

文化と祭典とスポーツが一緒に楽しめる、初夏のランデ・ヴー

新しいスタジアム、グラン・スタッドのオープン、

5月23日

オープニングを飾るのはFCジロンダン・ボルドーのシーズン最終戦です！

グラン・クリュのウィークエンド WEEK-END DES GRANDS CRUS

2015年5月30日、31日

ボルドー 格付けワインの愛好者お待ちかねのイベント

6月

ベグルの鱈祭り

FÊTE DE LA MORUE À BÈGLES

2015年6月5日から7日

ベグルがフランスの鱈漁の中心地だった時代を祝うお祭

ヴィネクスポ VINEXPO

2015年6月14日から18日

ワイン&スピリッツのビジネス関係者のための主要イベント

7月

スポーツの川岸&岸辺で踊ろう

QUAIS DES SPORTS & DANSONS SUR LES QUAIS !

7月中旬から8月中旬まで

ガロンヌ川岸の夏のイベント

8月

レゲエ・サン・スカ・フェスティバル

REGGAE SUN SKA FESTIVAL

2015年8月7日から9日

フランスで最大のレゲエ・フェスティバル - ボルドー大学のベサック・タランス・グラチニョンキャンパスにて

9月

メドック・マラソン

MARATHON DU MÉDOC

2015年9月12日

9000人がエントリーし、音楽休憩や試飲をはさみながらぶどう畑の中を駆け抜けるマラソン。

10月

高度道路交通システムITS世界会議

CONGRÈS INTELLIGENT

TRANSPORT SYSTEMS

2015年10月5日から9日

持続的輸送に関する国際会議

11月

ボルドー・S.O.グッド - BORDEAUX S.O GOOD

フランス南西部発の美食祭

ノヴァールNOVART

現代の舞台芸術の活気にあふれるフェスティヴァル

ペサックの国際歴史映画祭

FESTIVAL INTERNATIONAL DU FILM D'HISTOIRE DE PESSAC

11月

「Un si proche Orient (こんなにも近いオリエン特)」が2015年のフェスティヴァルのテーマになる予定です。



グラン・クリュとのランデブー

ボルドーの暮らしの中で、絶対見逃せないイベントが、2015年に10周年を迎えるグラン・クリュの週末week-end des Grands Crusです。ボルドーの極上ワイン愛好者にとって、普段は専門家だけの特権である100以上のクリュをテイストできるまたとない機会です。このイベントはその他、ワイン・シャトーでのディナー、メドック、グラヴ、ソーテルヌ、右岸の生産者を訪ねるぶどう畑巡り、マルゴーのゴルフコースでのゴルフトーナメントも！2015年5月30日と31日。

数字で見るボルドー

「ヨーロッパのベストデスティネーション2015」の栄冠はボルドーに

ボルドー・メトロポール

- ・ フランス第**6**の都市圏、アキテーヌ地方の中心都市
- ・ 人口**73**万人、そのうち、ボルドー市には**24万2000**人
- ・ **1810**ヘクタールが ユネスコ世界遺産登録範囲
- ・ フランス人の好む都市調査で第**2**位 *

飛躍的な発展を見せるツーリズム

- ・ 年間観光客数、**550**万人以上
- ・ 海洋クルーズ船が**39**回寄港、乗客数は**3**万人(2014年)
- ・ 空港 :**438万185**人の利用者(2013年)
- ・ 宿泊施設:**2万6000**人宿泊可能(ホテル、観光用レジダンス・ゲストハウス)
- ・ ボルドーと近郊に星付きのレストランが**14**軒。
- ・ 観光客の内訳:**65%**がフランス人、**35%**が外国人(イギリス、スペイン、北米、ドイツ、オーストラリア、中国、日本、イタリア、スイス)

最前線の環境都市

- ・ サイクリストに優しい街、世界**4**位。
- ・ フランスで第**1**位。*
- ・ 全体の**12%** が水に覆われ、**10%**は緑地。

ワイン

- ・ **60**のAOC
- ・ 生産量 : **5百50**万ヘクトリットル
- ・ **7000**のブドウ農園、**17000**のラベル
- ・ 世界中で**1**秒間に**23**本のボルドーワインが売れている。

その他 ...

- ・ 2003年から2013年の間に、ホテル宿泊者数が**66%**増加。
- ・ **80**万人:ボルドー観光局への来訪者数(2014年)
- ・ **26500**:ぶどう畑見学ツアー販売数(2014年)
- ・ **10€**:ボルドー市観光ガイドツアー
- ・ 2014:フランスで初めての「すべての人のデスティネーション」に認定され、**3**つの観光ルートに「観光とハンディキャップ」の認証を受けました。

*BVA世論調査-2013年4月

** Copenhagenize Index 2013-「サイクリストに優しい街」



広報・プレスコンタクト

広報・プレス担当

Gwenaëlle TOWSE-VALLET

Tel.: +33 (0)5 56 00 66 15

Eメール: g.towse@bordeaux-tourisme.com

Twitter: [@GwenaelleTowse](https://twitter.com/GwenaelleTowse)

Sophie GAILLARD-MAIRAL

Eメール: +33 (0)5 56 00 66 25

Mail: s.gaillard@bordeaux-tourisme.com

ボルドー観光局

12 cours du XXX Juillet - CS 31366

33080 Bordeaux

Lat: 44.84 366 | Long: - 0.57 446

Tel.: +33 (0)5 56 00 66 00

www.bordeaux-tourisme.com

オンライン・フォトライブラリーへのアクセス方法

ステップ1: 写真を選ぶ。

www.flickr.com/photos/bordeaux-tourisme/sets

ステップ2: 選択した写真を、フォーマットで送る。

<http://bit.ly/Photos-Bordeaux>

ステップ3: 高画質写真のリンクとコピーライトが返信される。

掲載後、記事のコピーを下記メールアドレス宛お送りください。
g.towse@bordeaux-tourisme.com

写真クレジット

このプレスリリースに掲載された写真は Thomas Sanson、Vincent Bengold、Steve Le Clech、Swann Vidal、Jean-Michel Destang、Deepix Studio、Lucky Studio、François Poincet、Christophe Bouthe、Geoffroy Groult、Vincent Rochefort、Eric Bouloumié の撮影によるものです。この中には、当観光局の承諾を受けて、ボルドーのプロモーションにお使いいただけるものもあります。どうぞ、使用目的を明記の上、下記E-mailへお問い合わせください。

communication@bordeaux-tourisme.com

ウェブサイト:

<http://presse.bordeaux-tourisme.com/jp/2015>

サイト・デザイン

コンタクト: François Moraud

Eメール: f.moraud@mobilibook.com

ウェブサイト: www.mobilibook.com

Tel.: +33 (0)6 59 36 11 85

人間工学に基づいた機能的デザイン、グラフィックデザイン・開発: Magali & Patrick Samacher
www.nums.fr